

我孫子市都部谷津の ナガエツル/ゲイトウの観察

谷津ミュージアム



一期
居酒屋

味好飯店
中華料理



10丁目

フリースペース
湖北台店



エステートピアMK



谷津ミュージアム



美しい手賀沼を愛する市民の連合会

間野 吉幸

観察区域 手賀沼の水を利用した田んぼ

- 我孫子市都部谷津の水田は、**手賀沼から揚水された水を利用して**いる。
- 都部谷津の狭い区域における特定外来生物ナガエツルノゲイトウ（以下ナガエ）の繁茂状態を観察している。
- **対象とする区域は、縦約230m、横約100mである。**

観察地点

- 定点観察地点：3か所（黄色）
- 都度観察地点：2か所（橙色）
- 追加観察地点：2か所（緑色）

観察場所(我孫子市都部谷津)

谷津ミュ



地点A



地点E



地点G



地点F



地点D



地点C



地点B

谷津ミュージアム



ユーススペース
我孫子湖北台店



エステートピアMK



Google

観察場所(我孫子市都部谷津)

地点A



地点E



地点G



地点F



地点D



地点C



地点B



谷津ミュージアム



一期
居酒屋

ユーススペース
我孫子湖北台店



東進ビル

四季の道

エステートピアMK



東京靴流通
我孫子

Google

観察地点における観察の位置づけ

● 定点観察地点

地点A…吐水口に網を掛けナガエの流入を防止する施策を観察する。

地点B…吐水口には細工せず除草剤を散布しナガエを除去する施策を観察する。

地点C…吐水口は色々な植物に覆われているのでナガエとの競合を観察する。

● 都度観察地点

地点D…吐水口はヨシに覆われている地点でヨシとナガエの競合を観察する。

地点E…吐水口より暗渠を伝って繁茂したナガエの水田に与える影響を観察する。

● 追加・臨時観察地点

地点F…追加地点(2022.11)：新たに水路沿いにナガエを発見、ミゾソバとナガエの競合を観察する。⇒**遮光率100%のシートを掛けることを検討中。**

地点G…臨時観察(2023.1)：休耕田及び隣接農道でナガエを発見。
⇒**農道のナガエ焼却**

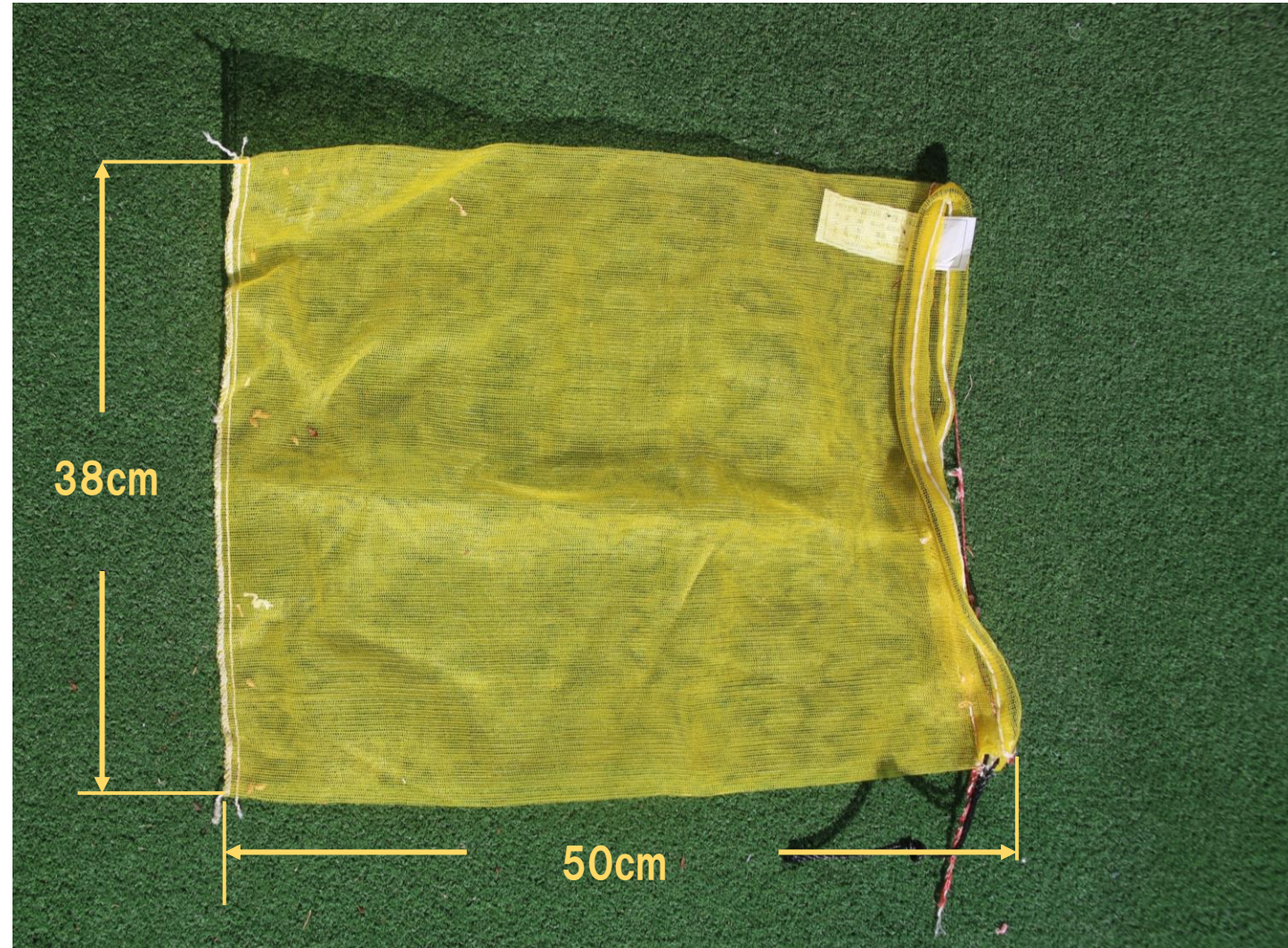
地点A: 網掛け対応

2022年7月26日時点



吐水口等に網掛けした水田はナガエが見当たらなかった。

地点A: 網掛け対応 網は再利用



網は種もみが入っていた網を再利用していた。

地点A:網掛け 稲刈り後 2022年9月29日時点



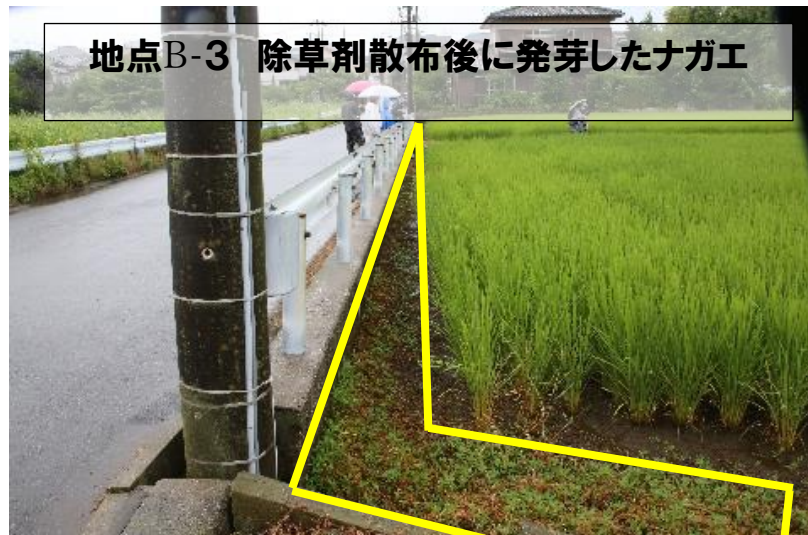
- 稲刈りが終わり、2番穂が成長していた。網は取り外されていた。
- 田んぼにも畔にもナガエはなかった。

地点A:網掛け 冬の状態 2023年2月20日時点



➤ 畔は焼却バーナーで草が焼き切られ、きれいに整備されていた。

地点B: 除草剤 2022年7月26日時点



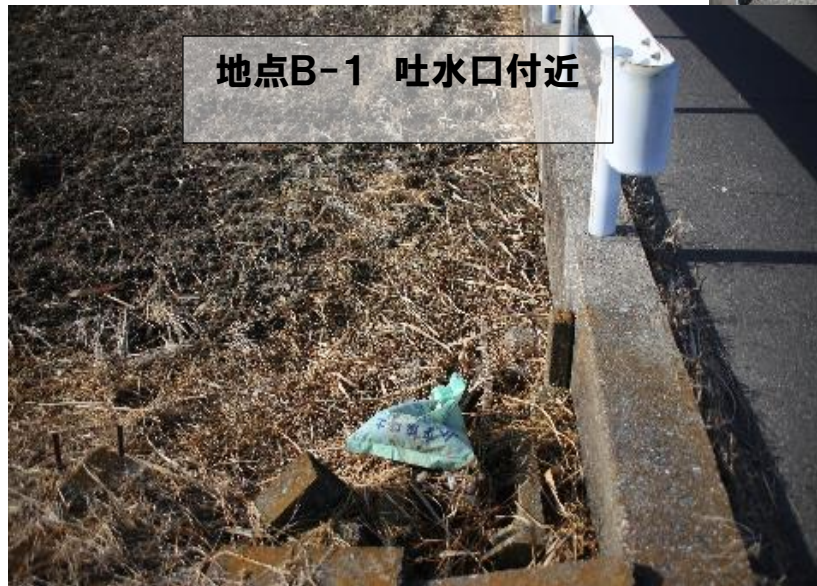
除草剤散布後、ナガエが再発芽。畔・水田にも進出し繁茂しはじめた。

地点B:除草剤 稲刈り後、2022年9月29日時点



- 稲刈り後の田んぼの状態。田んぼの周りはナガエが大繁茂していた。
- 一部水田にナガエが進出していた。

地点B: 除草剤 枯れた茎が散乱 2023年1月6日時点



- 吐水口付近: 刈り取られたナガエは田んぼの中まで散乱していた。
- 畔は除草剤が撒かれ、赤茶色にナガエが変色していた。ナガエの茎は枯れた状態で残っていた。
- 手刈した枯れたナガエの茎が田んぼにあった。
- 水路脇の畔の草は刈り取られていた。刈り取った後にナガエの茎が散乱していた。

地点B: 除草剤 枯れた茎が散乱 2023年2月20日時点



- B-1 吐水口付近: 刈り取られたナガエより根が出ていた。
- B-3 ナガエの茎は枯れた状態で残っていた。
一部の茎からナガエの根が出ていた。

地点C: 植物競合

2022年7月26日時点

地点C-1 吐水口付近に発芽したナガエ



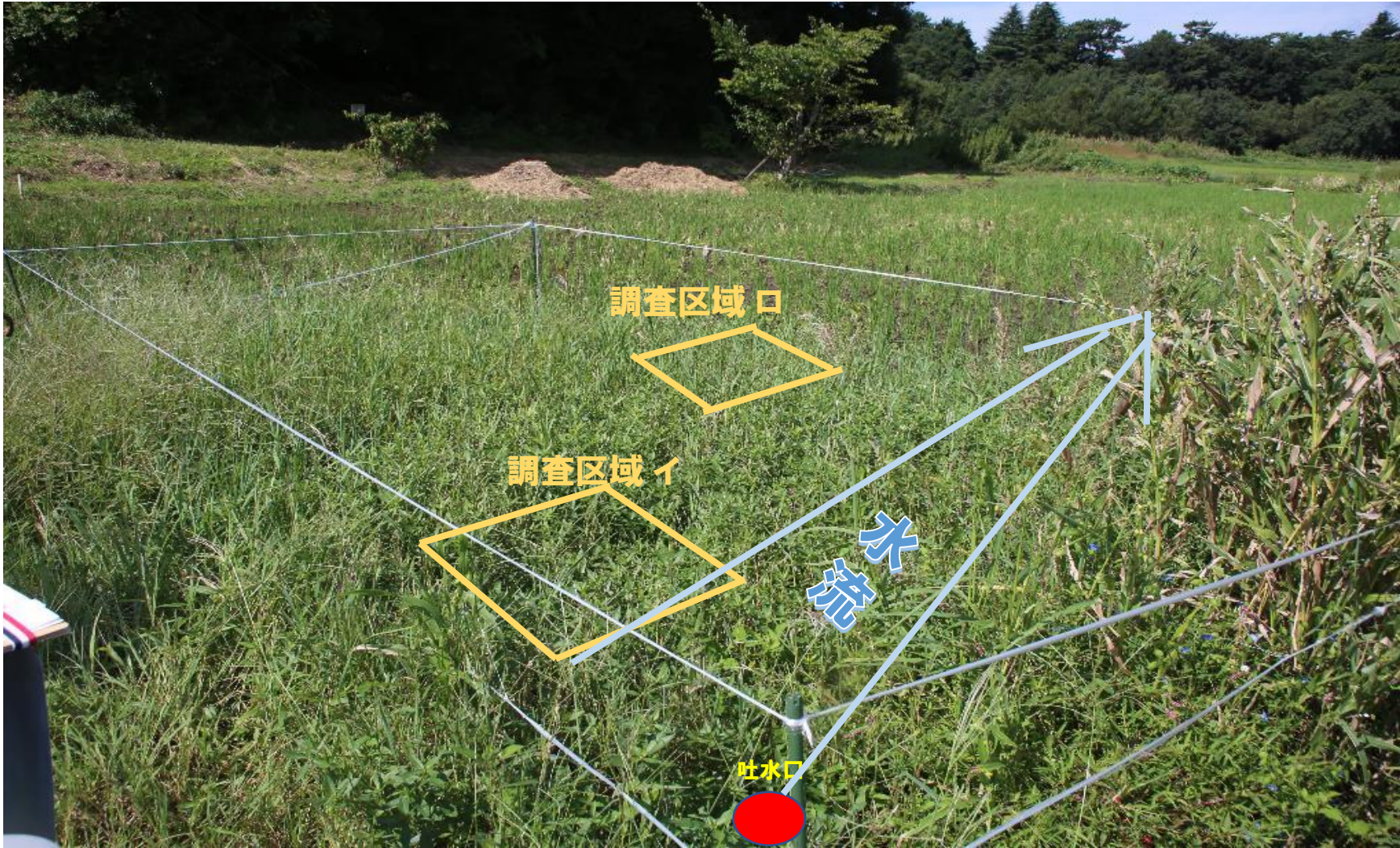
地点C-2 他の植物に紛れているナガエ

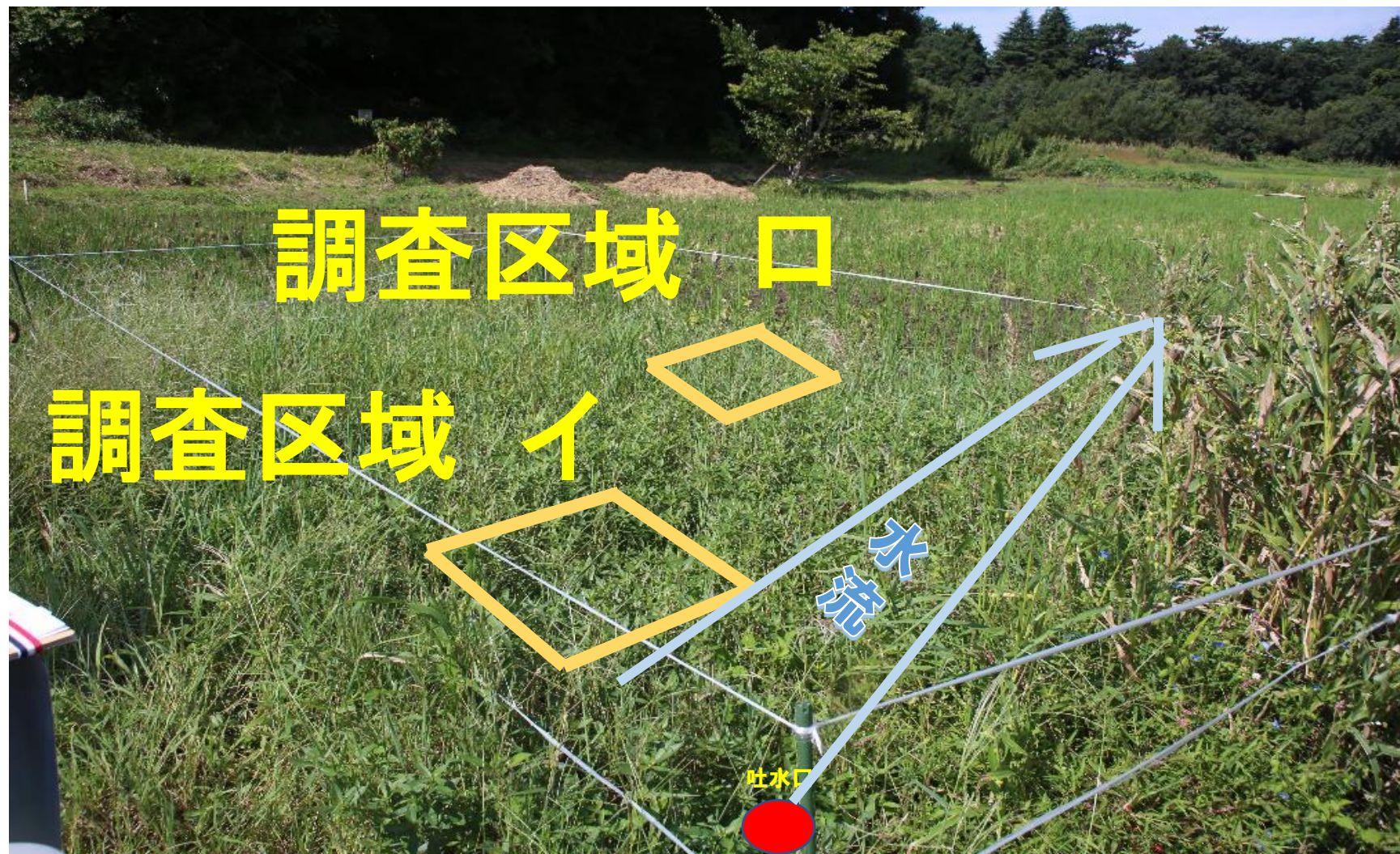


- 吐水口付近で他の植物に囲まれた状態でナガエが発芽。
- 離れた地点では他の植物に囲まれナガエは余り目立たなかった。
- ナガエの白い花も見られた。

地点C: 植物競合 被度調査の位置

2022年9月29日時点





調査区域 口

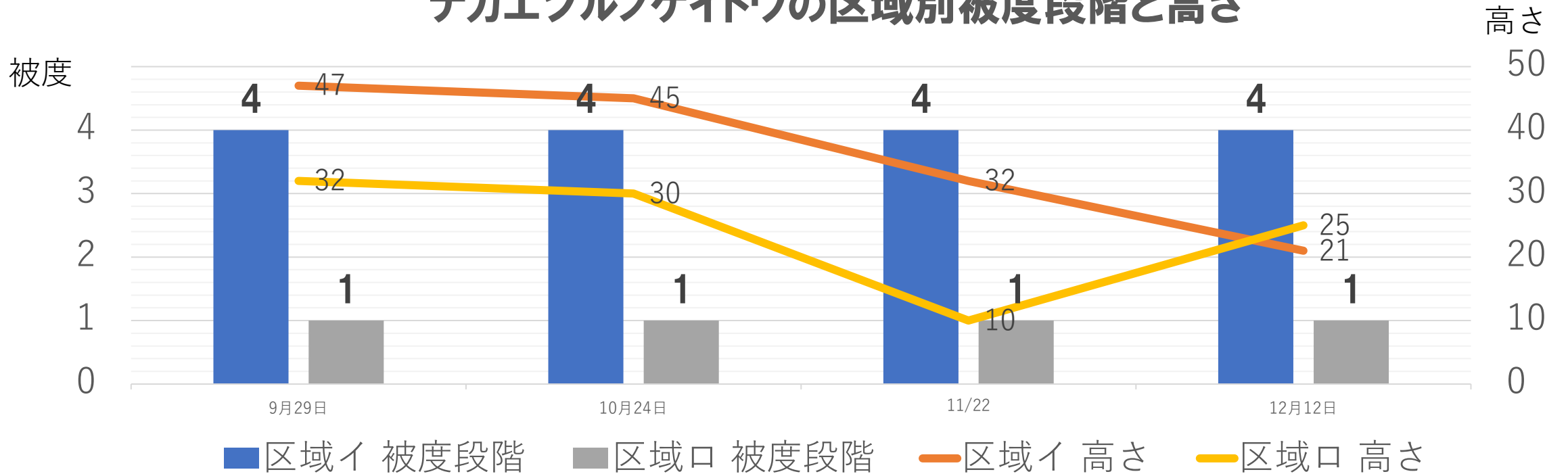
調査区域 イ

吐水口

流水

地点C: 植物競合 ナガエの強さは圧倒的

ナガエツルノゲイトウの区域別被度段階と高さ



- 区域の特徴：区域イ 硬度 7.2mm 水流の傍、区域口 硬度6.3mm水流より離
- 被度：区域イはナガエの被度が高く、他の植物を圧倒。区域口のナガエの被度は低く、他の植物が優勢。他の植物は種の交代が頻繁に行われていたがナガエは変わらなかった。
- 冬に近づくにつれてナガエの高さは減少していた。

地点C:植物競合 冬の状態

2023年2月20日時点



地点C ナガエの根がビッシリ



地点C ナガエの根は13cm

- 枯れた草の下で、ナガエの根がビッシリと張っていた。
- ナガエの根の長さは13cmあった。

地点D:ヨシへの侵入

2022年7月26日時点



- 地点D-1 吐水口付近でナガエが見られた。周りはヨシに囲まれている。
- 地点D-2 道路際は連続して生育している状態が見られた。

地点D:ヨシへの侵入 2022年9月27日時点



- ヨシが先月よりも繁茂しナガエの生育は目立たなかった。
- 道路脇では僅かにナガエが見られたがヨシに押され減少気味であった。

地点D:ヨシへの侵入 2023年2月20日時点



➤ ナガエは枯れてしまい見ることが出来なかった。

地点E: 自然状態 2022年7月26日時点



- 手賀沼から揚水された水が吐水口より勢いよく排出されていた。この水は暗渠を伝って地点E-2に供給されている。
- E-2地点ではナガエが繁茂し白い花が咲いていた。もう少しで水田に到達する状態であった。

地点E: 自然状態 秋の状態 2022年9月29日時点



- この吐水口付近ではナガエは除去されていた。
- ナガエと他の植物は場所によって繁茂状態が違っていた。

地点E: 自然状態 冬の状態 2023年2月20日時点



- 枯草を刈ったら水路が見えた。その中でナガエの茎が大量にあった。
- 水路から離れた場所では、ナガエは殆どなかった。

まとめ 観察から気付いたこと

- 地点A 網掛けしていた田んぼはナガエの侵入なし
- 地点B 除草剤でいったんナガエは枯れるが再発芽、田んぼに侵入。
刈り取った茎から根が発生。
- 地点C 水分の多い区域でナガエが多く繁茂し勢力を維持、他の植物より強かった。上面は枯れても根はしっかりと根付いていた。
- 地点D ヨシ等の繁茂地では内部への光の入力が少なくナガエの勢力は弱かった。
- 地点E 他の植物と競合しているが、水路の所では圧倒的にナガエが優勢。
地中に深く根付いている模様。一部田んぼに進出。

まとめ

- ナガエは入口で止める。絶対中に入れない。⇒網掛けを推奨。
- 入れたら駆除に手間暇がかかり大変。今の農薬では効果小さい。
- 駆除ナガエの処理問題：放置のままではナガエ拡大の要因になる。

ご清聴ありがとうございました